

我が県土  
支え育む  
希望郷



# 美しい 県土づくりNEWS

## 目次

- 2 ブロック塀の安全点検について
- 3 水害の未然防止・軽減に向けて  
～北上川上流両磐地区合同水防演習を開催～
- 4 復興道路 三陸沿岸道路唐桑高田道路 陸前高田長部 IC～陸前高田 IC 開通！
- 6 花のみちプロジェクト～“被災地のいま”を情報発信します～
- 9 けんせつ小町部会 平成 30 年度第 1 回会議を開催  
～建設産業における女性活躍に向けて～
- 11 復興道路等の整備による「ストック効果」を紹介します！  
【第9回】復興道路等による震災伝承ルートの形成

2018 年

7 月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌第 168 号  
平成 30 年 8 月 1 日発行  
編集 県土整備企画室

# 三陸復興

## 西日本豪雨からの復旧・復興に向けて ～職員を派遣し住まいの再建を支援～

平成 30 年 6 月から 7 月にかけて発生した西日本豪雨（平成 30 年 7 月豪雨）につきましては、災害によって犠牲になられた方に対し、心からお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭われた全ての皆様にお見舞いを申し上げます。

本県では、今回の豪雨災害に伴う国土交通省の支援要請を受け、2 名の職員を愛媛県に派遣しました。現地では、東日本大震災や平成 28 年台風第 10 号災害の経験で得たノウハウを生かし、被災地での早急な応急仮設住宅の確保のため、業務支援を行いました。

本県と同じく災害経験のある熊本県からの派遣チーム等と一体となって、整備候補地における現地調査や図面の確認、事務手続きに係る助言等を行い、支援業務の開始から約 1 週間で、応急仮設住宅の建築工事が着手されました。



整備候補地における現地調査



着工箇所における現場確認

### ●業務支援活動の状況

【派遣者数】 2 名（建築職員） 盛岡広域振興局土木部 1 名  
大船渡土木センター 1 名  
【活動期間】 平成 30 年 7 月 16 日（月）から 27 日（金）まで  
【活動地域】 愛媛県庁土木部建築住宅課を拠点として被災各市

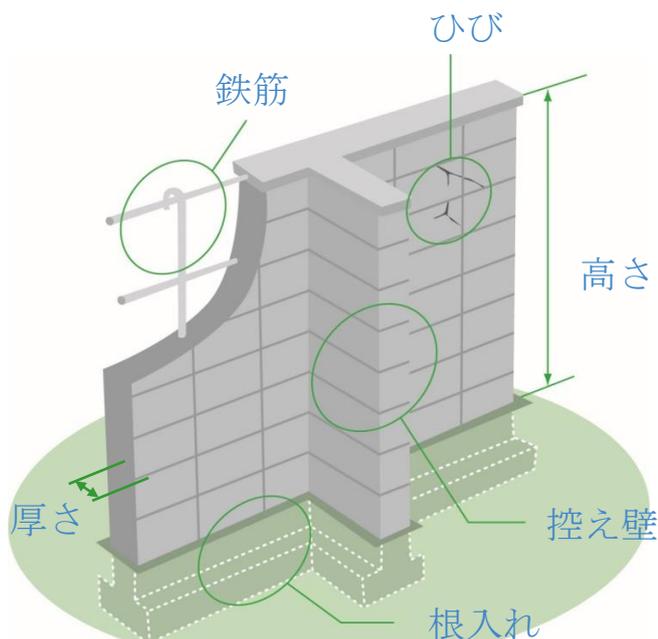
## ブロック塀の安全点検について

建築住宅課

平成30年6月18日に発生した大阪北部地震につきましては、犠牲になられた方に対し、心からお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われた全ての皆様にお見舞い申し上げます。

この度の地震災害では、ブロック塀の倒壊により死亡事故が発生しました。ブロック塀は、建築基準法の構造基準を満たしていないもの、老朽化で品質が低下しているもの等は、地震などの時に倒壊し二次災害を及ぼす危険があります。

ブロック塀の所有者・管理者のみなさまは下記の「ブロック塀の点検チェックポイント」を活用して適切な維持管理に努めていただきますようお願いいたします。**点検の結果、危険性が確認された場合は速やかに、付近通行者への注意表示を行うとともに、建築士等の専門家に相談し、適切な補修及び撤去等の対策を行うようお願いいたします。**



出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」  
日本建築防災協会 2013.1 より一部改

### ブロック塀の点検チェックポイント

- 1. 塀は高すぎないか
  - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
  - ・塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合には15cm以上)
- 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが1.2m超の場合)
  - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
  - ・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
  - ・塀に傾き、ひび割れはないか。

※ひとつでも不適合な点があれば改善、専門家へご相談ください

#### 問合せ先（各建築指導課）

盛岡広域振興局土木部	019-629-6650	八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町
(注) 盛岡市内の場合は、盛岡市の建築指導課へお問い合わせ下さい。		
県南広域振興局土木部（奥州）	0197-22-2881	奥州市、金ケ崎町
花巻土木センター	0198-22-4971	花巻市
遠野土木センター	0198-62-9938	遠野市
北上土木センター	0197-65-2738	北上市、西和賀町
一関土木センター	0191-26-1418	一関市、平泉町
沿岸広域振興局土木部（釜石）	0193-27-5573	釜石市、大槌町
大船渡土木センター	0192-27-9919	大船渡市、陸前高田市、住田町
宮古土木センター	0193-64-2221	宮古市、山田町
岩泉土木センター	0194-22-3116	岩泉町、田野畑村
県北広域振興局土木部（久慈）	0194-53-4990	久慈市、普代村、野田村、洋野町
二戸土木センター	0195-23-9209	二戸市、軽米町、九戸村、一戸町

## 水害の未然防止・軽減に向けて ～北上川上流両磐地区合同水防演習を開催～

河川課

7月1日(日)、一関市磐井川河川緑地公園において、北上川上流両磐地区合同水防演習を開催しました。

この演習は、水防関係者の士気の高揚と水防技術の向上及び防災関係各機関相互の連携の確立を図るとともに、水防に対する地域住民の理解を深めることを目的として開催しているものです。今年、アイオン台風災害から70年の節目となる年でもあることから、関係機関が一堂に会し、一体となって水防演習を実施しました。

当日は、一関市及び平泉町の消防団による大雨時を想定した土のうの作製や搬送、月の輪工法等の演習が行われたほか、水防に対する地域住民の理解を深めるため、防災指導車による模擬地震体験コーナーや、岩手県南部のイメージキャラクターであるおもちとの交流コーナーなどが設けられ、多くの親子連れで賑わいました。



# 復興道路 E45 三陸沿岸道路 唐桑高田道路 陸前高田長部IC～陸前高田IC 開通!

## 道路建設課

平成30年7月28日(土)、陸前高田市気仙町にて、復興のリーディングプロジェクトとして国が整備を進めている三陸沿岸道路の唐桑高田道路 陸前高田長部 IC～陸前高田 IC の開通式が国、県、陸前高田市の共催で開催されました。

式典には、津田 東北地方整備局長(国土交通省道路局長代理)、鈴木 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣、達増知事、戸羽市長をはじめ、国会議員、県議会議員、地域住民の方々など多数の関係者が出席しました。

代表者からの挨拶に続き、地域の代表者として陸前高田市の消防長から開通に期待する声が発表され、テープカットと走り初めが行われました。



津田東北地方整備局長 挨拶



達増知事 挨拶



期待の声 陸前高田市消防本部 平消防長



テープカット

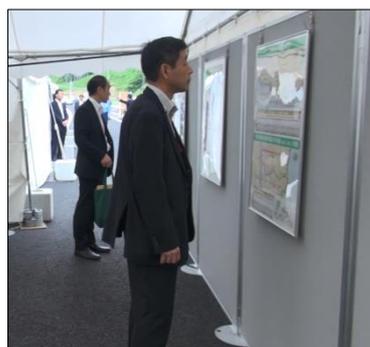


走り初め

会場では、復興道路のパネル展示のほか、メッセージビデオの上映や長部大漁唄いあげ乗付唄が保存会と子どもたちにより披露され、開通式典と併せて約150名が来場されました。



長部大漁唄いあげ乗付唄 演奏



パネル展示



# 花のみちプロジェクト

“被災地のいま”を  
情報発信しています

沿岸広域振興局土木部

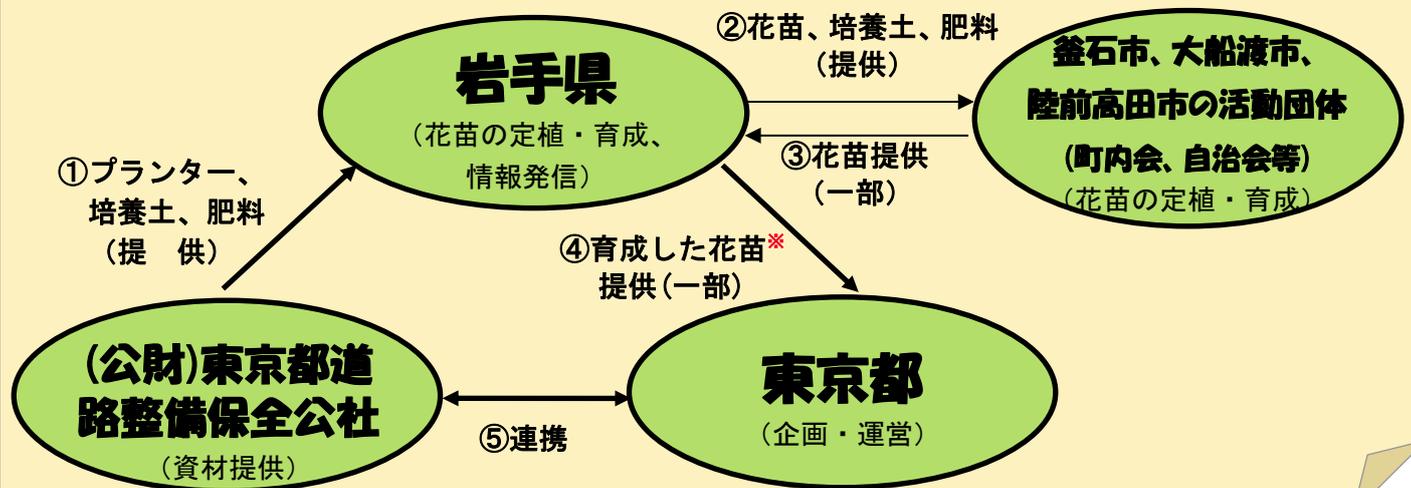
## 1. 復興支援に感謝を込めて・・・『花のみちプロジェクト』

本プロジェクトは、全国からの“復興支援に対し感謝を伝える”とともに、今後の復興を加速化させるために必要な“継続した支援”を受けられるように“被災地のいま”を情報発信し、“復興への理解を得る”ことを目的としたプロジェクトです。

東京都及び(公財)東京都道路整備保全公社と連携し、岩手、東京双方から復興を情報発信しています。そのほか、(公財)東京都道路整備保全公社から培養土、肥料などの園芸資材の提供を受け、岩手県が用意した花苗を、釜石市、大船渡市、陸前高田市にある5つの活動団体で育成しています。

育成した花苗の一部(※下図④)は、復興支援に感謝を伝えるため、東京都に提供し、都内のイベント(下記3)や東京都庁前花壇等に展示されています。

### 【プロジェクトの概要】



寂しげだった街並みが、  
色とりどりの花々で明るく  
なりました。

### 【定植前】



### 【定植後】



## 2. 各活動団体での活動

今年度は、釜石市の2団体（鈴子町内会、大渡町内会）、大船渡市の2団体（本町地域公民館、花咲く盛の会）、陸前高田市の1団体（県営柄ヶ沢アパート自治会）において、県道沿いの花壇等に合計4,800株の花苗を定植しました。

花苗の定植後は、綺麗な花を長期間維持するために、日々の水遣り、花殻摘み、草取り、病虫害防除などの育成管理が10月中旬まで続きます。

### ◆【活動団体の声（一部）】

- ・被災地に心寄せせる人々が住む東京を思い、大事に花を育てます。感謝します。
- ・まだまだ復興途中。震災を風化させないためにも、このような活動が大切だと思います。
- ・東京都のみなさん、ありがとうございました。
- ・大震災から、もう7年経ちますが、徐々に記憶から薄れがちの中で「花のきずな」の企画を心から感謝します。
- ・雑草だらけ花壇も温かい支援のおかげで、毎年、キレイな花壇になって嬉しいです。



定植作業

## 3. 平成30年8月16日～17日『夢のみち2018』イベント

定植育成した花苗のうち600株は、8月上旬に東京都に提供し、新宿駅西口イベント広場での「夢のみち2018」イベントにおいて、花苗の定植と展示が行われます。

イベントでの花苗定植では、岩手の活動団体の方々、都内の親子など約60名が参加し、ゲストタレントと共に作業が行われ、毎回、沢山の温かいメッセージをいただいています。

### ◆【被災地へ向けてのメッセージ（一部）】

- ・東京の人と東北の人がつながって笑顔になりますように。
- ・花と笑顔があふれる町に戻る日まで。心をひとつに。
- ・みんなが笑顔になりますように！！



定植作業



集合写真



被災地に向けたメッセージ

※『夢のみち2018』定植イベントの概要

- ・主催・共催：(公財)東京都道路整備保全公社・東京都建設局
- ・場所：新宿駅西口広場イベントコーナー、東京都庁前（新宿副都心4号線歩道）
- ・目的：潤いのある道路空間の創出と東北被災地域の復興を促進し、地域間交流を深めることを目的に実施している「道で咲かせよう東北の花～都庁舎前花壇育成プロジェクト～」の活動PRと、プロジェクト連携の輪を広げ、都民と被災地の連携意識の向上を図ること。
- ・参加者：都内在住の小学生とその保護者30組×2日、  
ゲストタレント（春風亭昇太さん、蝶野正洋さん）
- ・実施内容：①参加者が被災地で育てた花苗をプランターに定植  
②被災地への思いなどのメッセージをボードに書き込み、プランターに設置する

◆岩手県内の活動団体◆

①釜石市鈴子町内会



②釜石市大渡町内会



③本町地域公民館



④花咲く盛の会



⑤県営栃ヶ沢アパート自治会



本プロジェクトで提供した  
花苗を展示している  
東京都庁第一本庁舎前花壇



都民の皆さんからのメッセージボード



# けんせつ小町部会 平成30年度第1回会議を開催 ～建設産業における女性活躍に向けて～

建設技術振興課

平成30年6月29日（金）、いわて女性の活躍促進連携会議に設置された5部会の一つである「けんせつ小町部会」の平成30年度第1回会議を開催しました。

会議では、平成30年度における現場見学会や講習会等の取組や、いわてけんせつ小町部会サイト（ホームページ）の新設等について、意見交換を行いました。

今後、会議での意見を踏まえ、女性の活躍支援のための総合的な取組について検討していきます。

## 1 会議の目的

けんせつ小町部会における平成29年度の実績について検証並びに今後の取組の方向性についての検討及び意見交換を行い、建設産業界における女性活躍支援のための総合的な取組に反映させる。

## 2 会議の概要

- (1) 日 時 平成30年6月29日（金） 13時30分～15時30分
- (2) 場 所 エスポワールいわて1F小会議室
- (3) 出席者 (一社)岩手県建設産業団体連合会 高橋会長ほか女性委員7名

## 3 会議での主な意見

- ・ 県では、女性職員へのアンケート調査のほか、若手技術者も対象に実施していることから、担い手確保の観点からも当部会における検討課題として取り扱ってはどうか。
- ・ 自分の悩みをSNSで相談することは、匿名とはいえ半ば公開の状態です。不特定メンバーに対して行うこととなり難しいのでは。
- ・ 外部向け情報発信用であるホームページと、内部交流用のSNSとの目的を整理し、きちんと使い分けることが必要。
- ・ ホームページは、往々にして作成したが適切な更新がなされずに、未活用なケースが多い。情報発信を行う有効な手法であるので、閲覧者数を増やすことが可能となるよう、更新頻度を多くし、魅力ある情報を発信していくことが重要。



会議の状況

### 4 平成30年度事業業計画

事業名	事業内容
けんせつ小町ネットワーク	SNSによる、意見交換や問題・課題等の情報共有、けんせつ小町部委員や建設産業で働く女性職員の連絡手法等として活用する。
いわてけんせつ小町部会サイト	ホームページを新設し、建設現場で働く女性技術者等による交流の場の拡充や、その活躍状況等について対外的なアピールを行い、建設業のイメージアップを図る。
現場見学会 (2回開催)	①小・中学生等及び保護者等を対象として、女性技術者の活躍状況や女性が働きやすい現場環境(女性休憩所等)を見学し、建設産業に対するイメージアップの向上を図る。 ②女性技術者の活躍状況や女性が働きやすい現場環境を見学し、スキルアップや社員同士の交流の促進を図るほか、現場環境改善の拡大に向けての参考とする。
講座 (2回開催)	①経営者及び男性社員対象(女性職員含む)を対象に、女性が活躍できる職場環境づくりに向けた講習や意見交換を開催する。 ②建設産業で働く女性等の能力向上を目的として、ICT技術の活用促進に向けた、ドローン、3次元ソフト、VR等の講習会を開催する。
アンケート調査	県営建設工事に従事する女性技術者や、県内企業に対しアンケート調査を行い、女性技術者のさらなる活躍に向けての問題・課題を抽出し、会議における検討課題とする。

●いわてけんせつ小町部会ウェブサイト



(URL) <http://iwate-komachi.net/>

復興道路等の整備による「ストック効果」を紹介します！

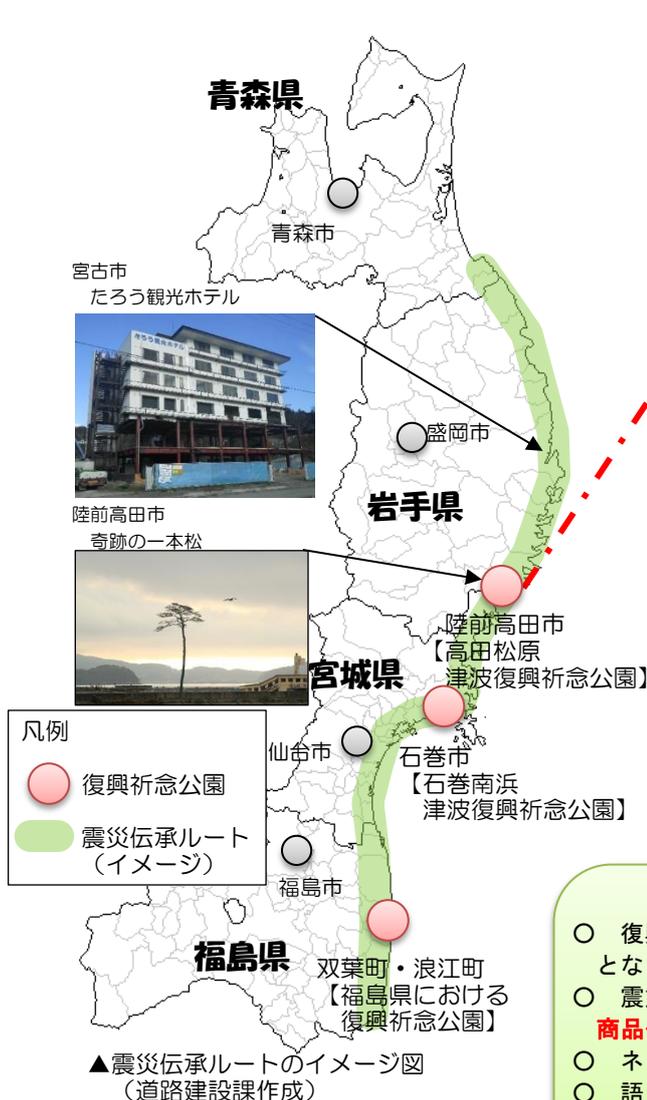
【第9回】復興道路等による震災伝承ルートの形成

被災地「陸前高田市」の状況

- 震災後、震災学習や語り部ガイド等の取組により、観光入込客数は回復傾向にあるものの、時間の経過とともに風化への懸念が強まっている → **伝承が必要**
- 高田松原津波復興祈念公園や重点道の駅「高田松原」（東日本大震災津波伝承館を含む。）の整備が進んでおり、津波防災文化の情報発信機能が充実予定であり、東日本大震災津波の実情と教訓を後世に伝承する役割が期待される。

復興祈念公園を核とするネットワーク化の取組

- 復興祈念公園や震災関連施設などのネットワーク化の取組を、国と被災3県等で今後検討していく。
- ネットワーク化により国内外から訪れる人々が被災地を巡りやすくし、**震災の風化の防止や教訓の継承につなげる**ことが狙い。
- 津波被害や復興に関する様々な震災関連施設への円滑なアクセスに復興道路等が大きく寄与することが期待される（震災伝承ルートの形成）。



**ネットワーク化によるメリット**

- 復興祈念公園が震災伝承ルートのゲートウェイ（玄関口）となり、各地の施設群に大勢の来訪が可能
- 震災伝承ルートを活用したツアーのコースが設定でき、**商品化への可能性**
- ネットワーク化した施設群による**共通のイベントが可能**
- 語り部活動との連携により、**震災伝承の付加価値化が可能**